

つなげよう！地域の力！

～ちょこっと、つどう憩いの『わ』

社会福祉法人六踏園 地域交流センターまんまる

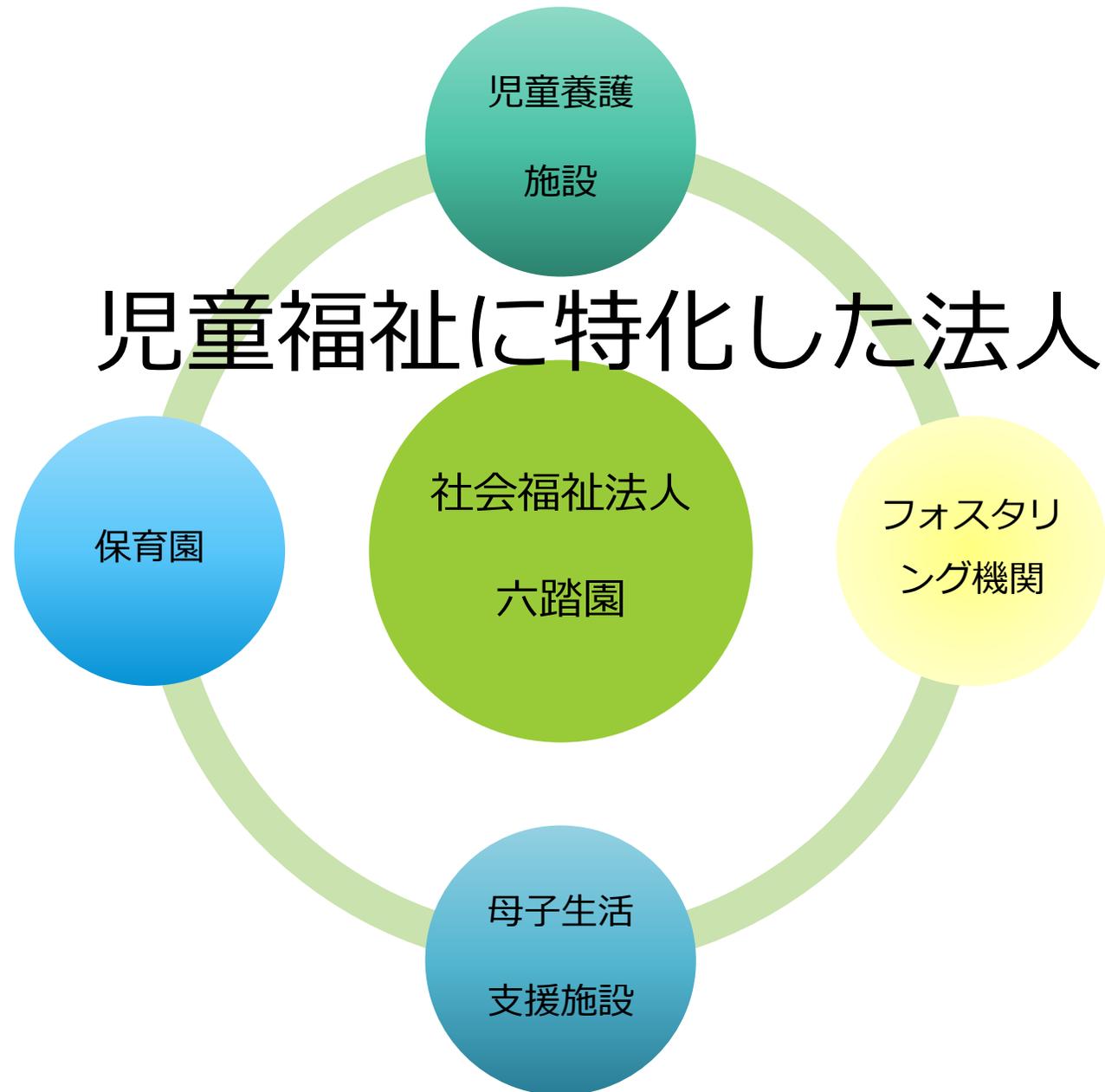
地域支援コーディネーター 大川内綾



manmaru

まんまる

法人概要



2025年（令和7年）創立100周年を迎える

地域における 課題の状況

不登校

ひきこもり

ヤング
ケアラー

養育困難

多子世帯

里親ケア

孤育て

ひとり親

保護者
ケア

経済的
困窮

DV・虐待

精神疾患
発達障害

外国籍

高齢者

地域交流センター まんまる とは？

- 法人のこれからの100年に向けた先発・戦略事業
- 地域共生社会の形成に向けた「予防福祉」「地域福祉」の開発事業
- 児童養護施設の高機能化・多機能化をすすめる先駆的事業

調布学園の事業計画

「地域に支えられ、地域に貢献し、地域と共に歩む施設を」
を具体化・発展させるための中心的な役割

地域交流センター まんまる



2022年5月
運営開始

【まんまるの運営上の特徴】

日本財団子ども第三の居場所
コミュニティモデル拠点として

- **社会福祉法人六踏園が運営**



- **専門職が常駐**

(有資格者・福祉課題の解決が可能)



- 予防・早期発見・支援
- 社会福祉法人六踏園と地域をつなぐ場
- 関係機関とのつながり

予防福祉に力を入れる



【まんまるのコンセプト】

居場所づくり

まんまるKids

まんまるday



manmaru

まんまる

多世代交流

公開

非公開

アプローチ

ひとり親家庭

アウトリーチ

虐待防止

Kidsプラス

連携

予防福祉

つなげよう！地域の力！
~ちよこっと、つどう憩いの『わ』

居場所づくり

<まんまるDay>

月・土：9:30～11:30 /
14:00～17:00
※月曜のみ終日オープン
水：9:30～11:30



居場所づくり

<まんまるKids>

水・金：14：00～16：45

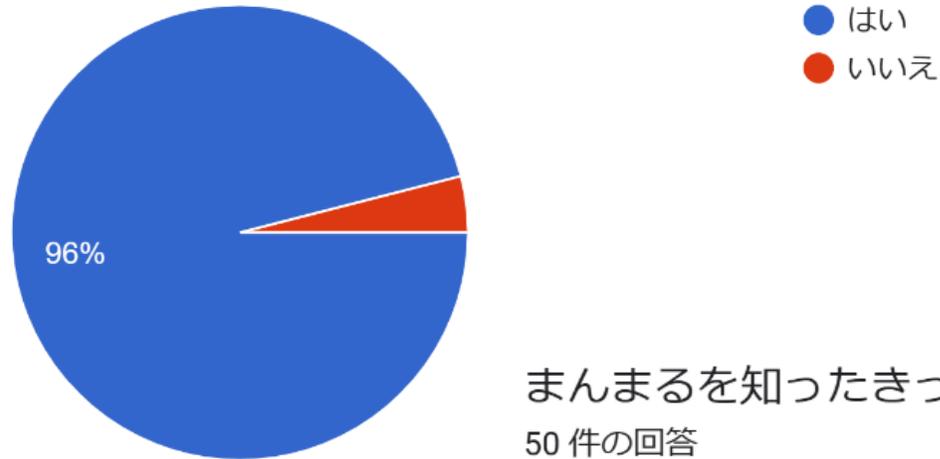
子どもの登録者：218人



まんまる利用についてのアンケート回答結果（回答数50件）

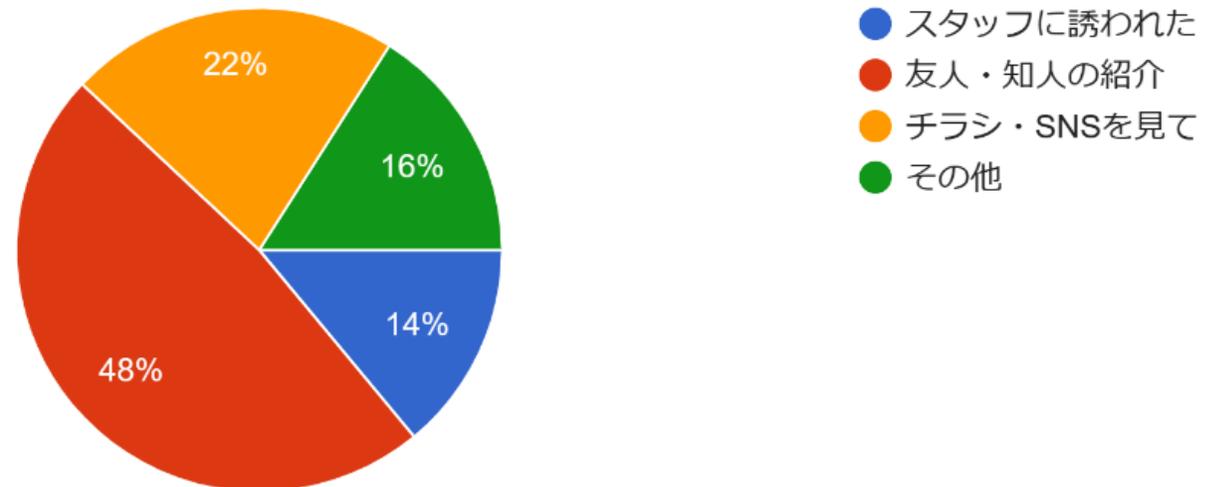
まんまるを利用したことがありますか？
50件の回答

▶ 「はい」が96%で最も多い



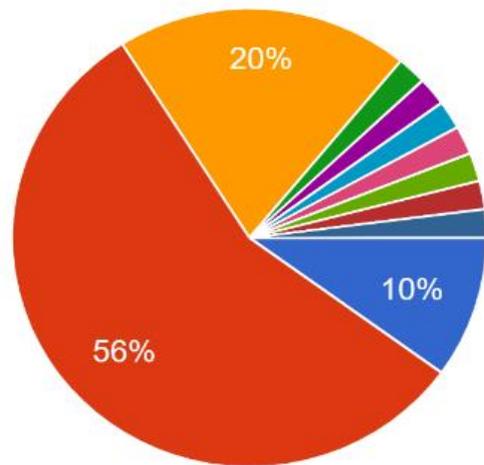
まんまるを知ったきっかけ
50件の回答

▶ 「友人・知人の紹介」が最も多く、続いて「チラシ・SNSを見て」が多い。



利用頻度を教えてください。

50件の回答



▶ 「月1回以上」が56%で最も多い

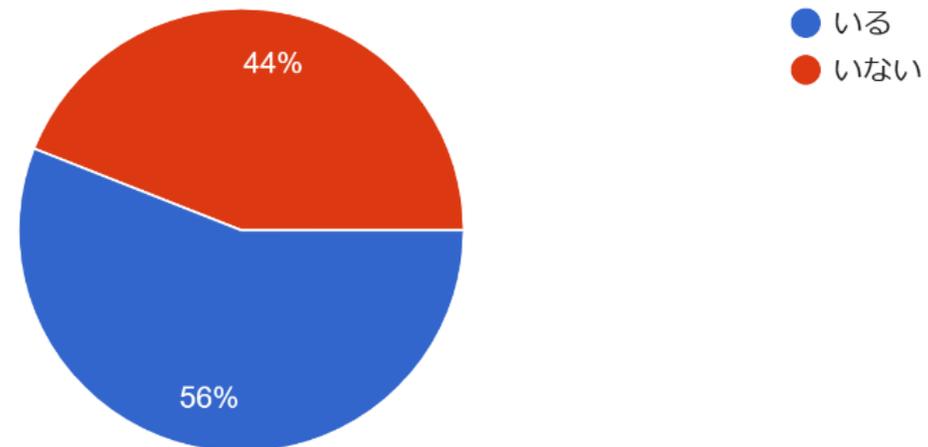
まんまる利用についてのアンケート回答結果（回答数50件）つづき

- 週1回以上
- 月1回以上
- イベント開催のみ
- カフェに一度とたまにショートステイ...
- 育休中はよくお世話になりました
- 子供のみ利用
- まだ利用なし
- 一度だけ利用しました

まんまるで知り合った人はいますか？

50件の回答

▶ 「いる」が56%

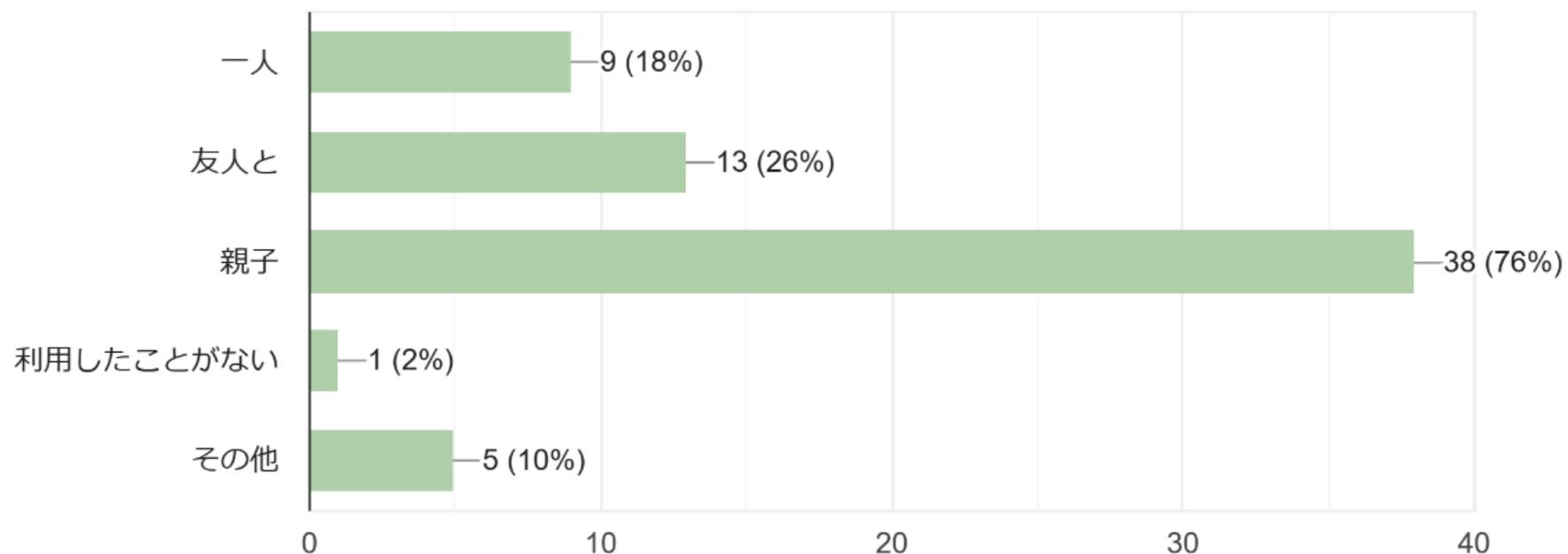


まんまる利用についてのアンケート回答結果つづき（回答数50件）

誰と利用していますか？（複数回答可）

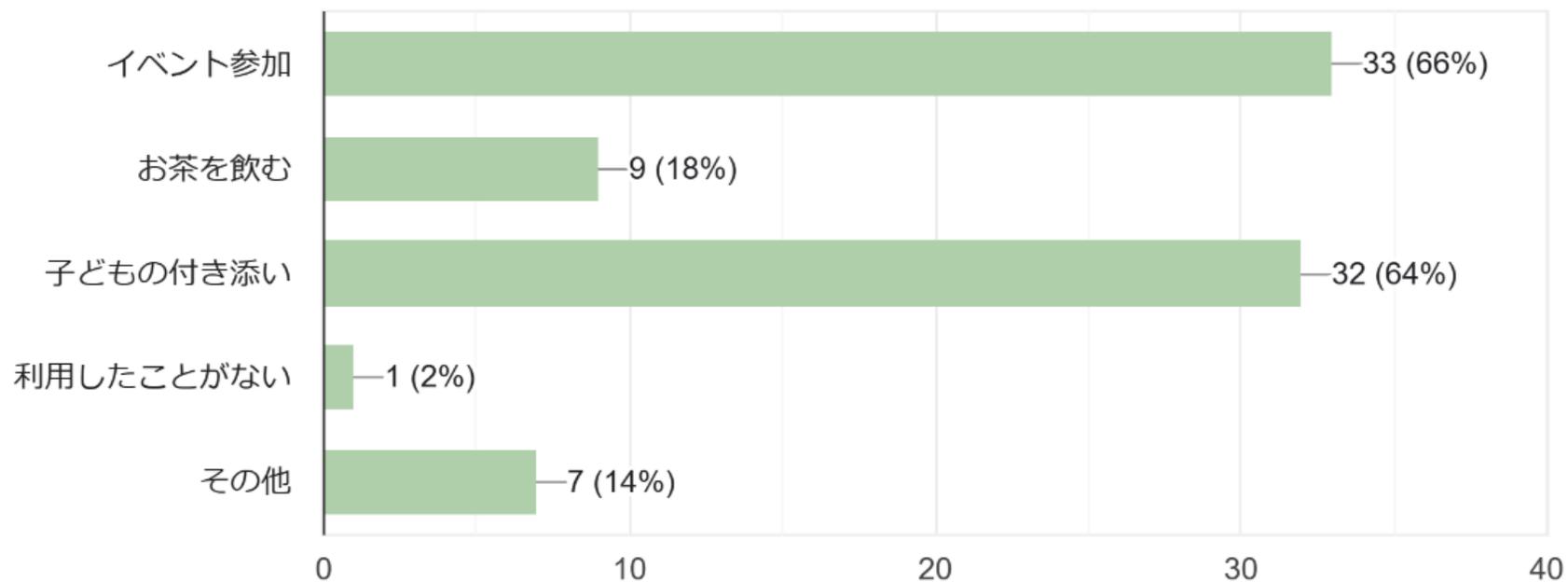
▶ 「親子」での利用が最も多い

50件の回答



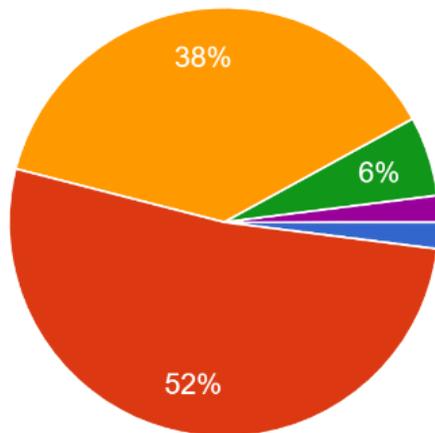
まんまる利用についてのアンケート回答結果つづき（回答数50件）

どのような利用をしていますか？（複数回答可） ▶ 「イベント参加」「子どもの付き添い」が多い
50件の回答



まんまる利用についてのアンケート回答結果つづき（回答数50件）

年代
50件の回答

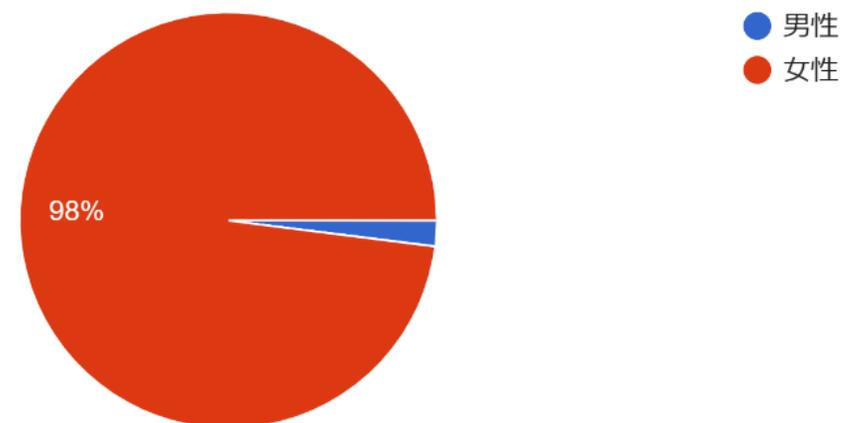


▶ 「30代」「40代」の利用が90%



性別
50件の回答

▶ 「女性」が最も多く98%



まんまる利用についてのアンケート回答結果つづき（回答数50件）

【まんまるを利用して】

- ・大きく3点に分けられた。
 - ①子どもにとってのメリット（楽しめる、いろいろな体験ができる、魅力的なおもちゃがある等）
 - ②大人にとってのメリット(大人も楽しめる、ゆったり過ごせる、お父さんも利用できる等)
 - ③環境（清潔感がある、落ち着いている、和やか、スタッフに対する評価等）
- ・中にはほぼ毎日利用することができる点を挙げ、育休中に欲しかったという記述もあった。

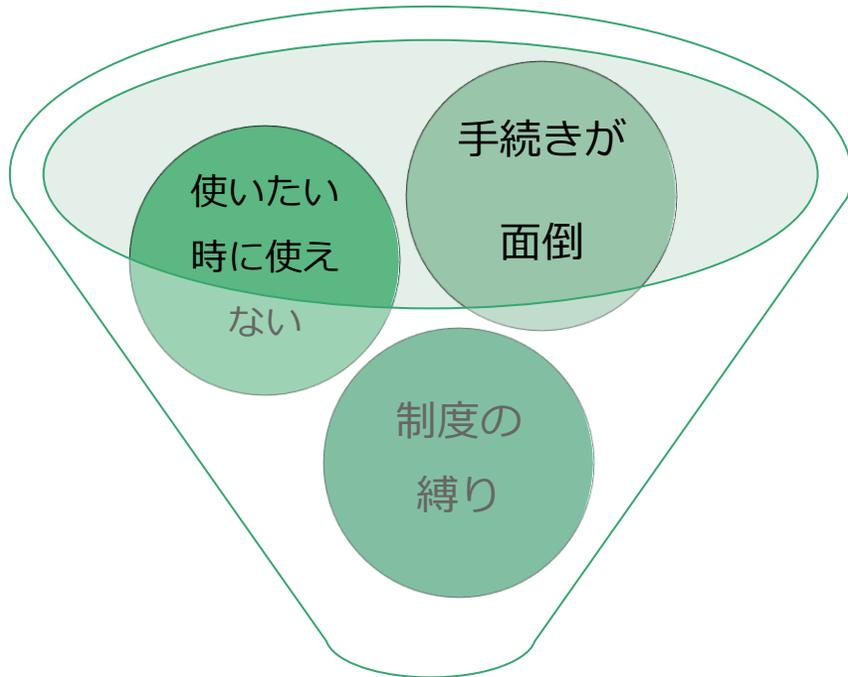
【やってみたいこと】

- ・イベントに関する記述のほか、「入所している子どもたちとの交流」「施設退所者の集い」「就学前の子供と小学生の子どもが一緒に」過ごす等が挙げられた。

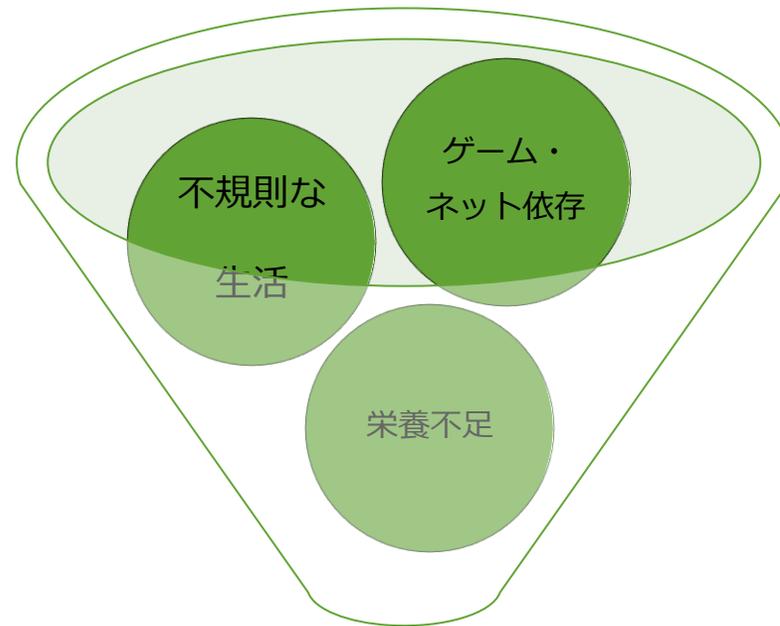
【まんまるはあなたにとってどのような場所か】

- ・子どものみならず、「親子で楽しめる」「リフレッシュできる」「安心して過ごせる」等、大人にとってもプラスになっている記述が見られた。
- ・そのほか「**第二の家のようなアットホームで子どもたちがいろいろな関りや経験をさせてもらえる素敵な場所**」「外部の方が気軽にイベントを企画できるのもすごいこと」「人と交われる落ち着く場所」「近所にある 生きやすい場所」「これから子どもたちが大きくなってもこの存在に助けられるかなと思っています」「いろいろな方との出会いの場所」「**実家に頼れない状況、友人に話せないことも話せたり、家族にとってありがたい場所**」という記述があった。

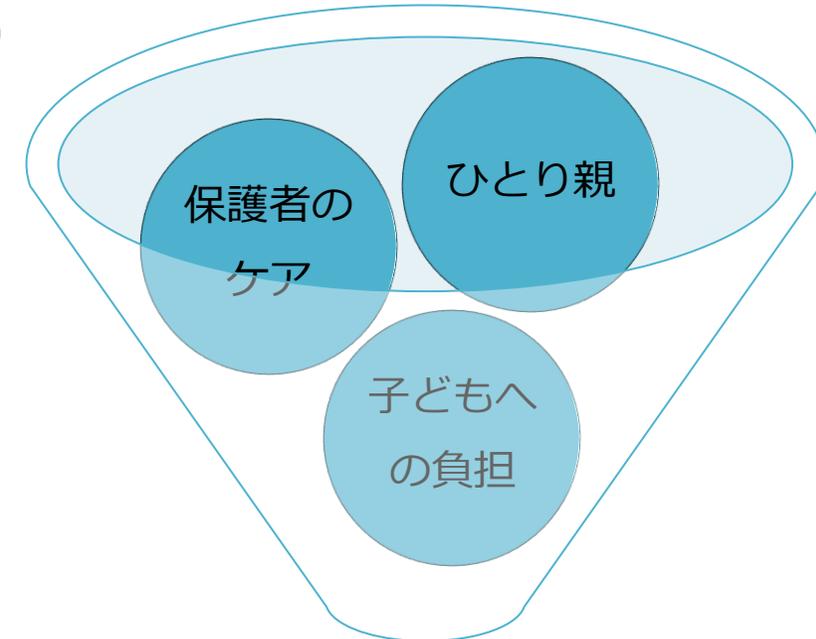
【地域支援における課題】



柔軟性・即応性



食と余暇の提供



子ども・保護者の味方に

キッズプラスの取り組みをはじめめる

ひとり親世帯 アプローチ・ アウトリーチ

月：17：15～お弁当配達
水・金：17：30～20：00

★秘密のキッズプラス

対象：ひとり親家庭

- 17：30 学童・保育園・放デイお迎え
- 18：00 調布学園の夕食提供
- 18：30～お楽しみタイム
- 19：30～帰宅準備（自宅まで送迎）



キッズプラス利用：6世帯10人
お弁当配食：12世帯22食
利用料：無料

保護者
サポート

食事提供

送迎

見守り

★子ども家庭支援センター・スクールソーシャルワーカー・母子生活支援施設と連携★

継続した支援の1例

幼児期からショートステイ利用



スクールソーシャルワーカー・
子ども家庭センター・皐月が
支援継続



まんまる キッズプラス利用



4泊5日の宿泊プログラム
(宮城県石巻市)に
チャレンジ

皐月退所

不登校・不規則な
生活・栄養不足

ショートステイ
食・経験の保障

森と海と明日へー

MORIUMIUS 滞在のしおり

豊かな森と海に恵まれ、自然風景と伝統が色濃く残る石巻市雄勝町。東日本大震災によって町の8割が壊滅してしまいましたが、地域の復興への想いから、高台に残る築93年の廃校が新たな学び場として生まれ変わりました。それがMORIUMIUSのはじまりです。

MORIUMIUSは、こどもたちの好奇心と探究心を刺激する複合体験型施設です。暮らしと自然が共存する環境を学び、それを活かしたアクティビティや多種多様な交流を通じて、たくましく生きていく力が湧いてくる。こどもたちが自然と向き合って多くのことを学ぶように、町を訪れる人たちの交流は雄勝町がより豊かに育ってゆくためのきっかけともなります。こどもたちと地域の明日をつくるために、MORIUMIUSは新しい出会いを生み出していきます。



MORIUMIUSの3つの学び



循環する暮らしを学ぶ

自然から得られるものとの生活を通じて、自然と人の暮らしのつながりを学ぼう。



地元の人から地域の暮らしを学ぶ

地域に根づく文化と豊かな自然を知って、震災後も暮らし続ける人たちの想いにもふれよう。



多様性にあふれた人たちと出会う

育ってきた環境が異なる仲間との時間から、お互いの違いを受け入れて一緒に生活をしよう。



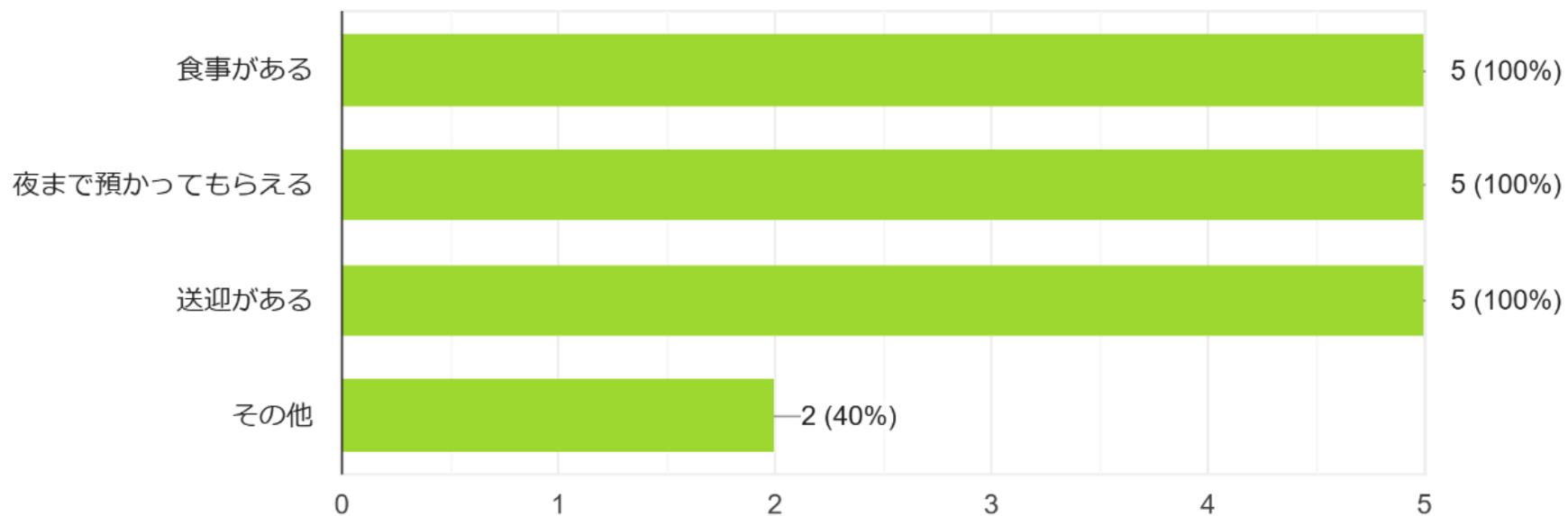
MORIUMIUS THINK

MORIUMIUSでの学びとは、こどもたちの体験です。森と海に恵まれた豊かな自然の中で、循環する暮らし。雄勝という街に受け継がれてきた、土地と人びとの物語。そして、ここに集まる多種多様な人びとの出会い。その一つひとつの体験が、こどもたちのたくましい心を育てます。

まんまるキッズプラス利用についてのアンケート回答結果（回答数 5 件）

Kidsプラスの良いところを教えてください。
5 件の回答

▶ 「食事がある」「夜まで預かってもらえる」
「送迎がある」がいずれも100%

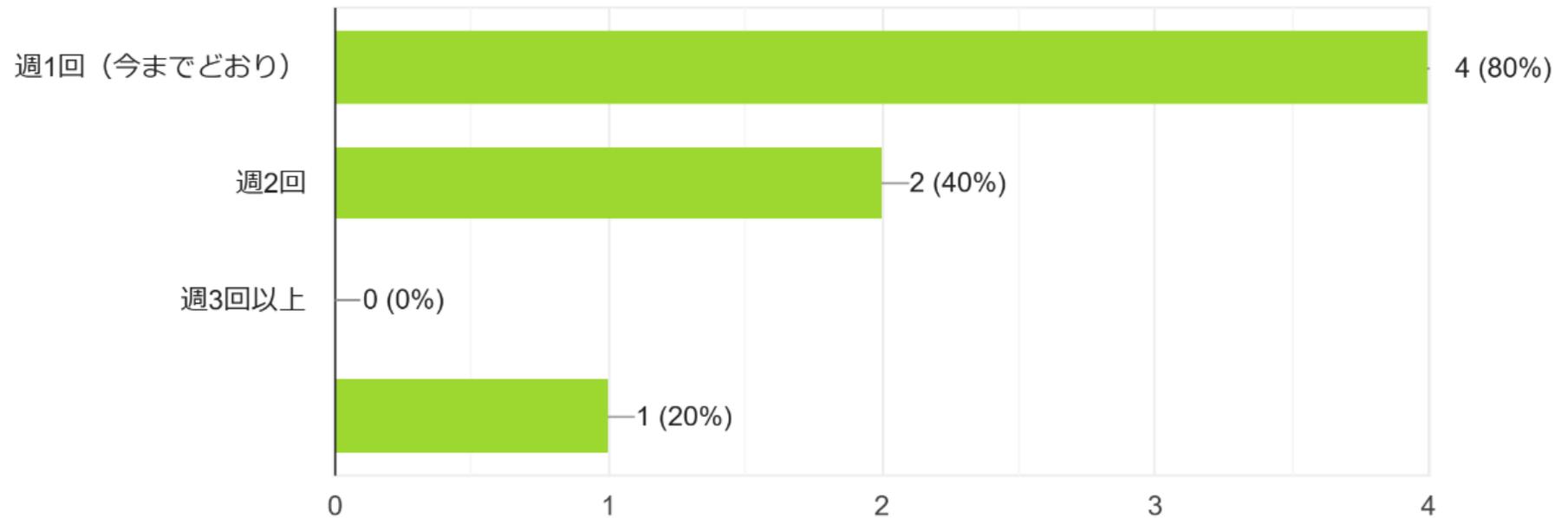


まんまるキッズプラス利用についてのアンケート回答結果つづき（回答数5件）

週に何回利用を希望しますか？

▶ 「週1回（今までどおり）」が最も多く80%

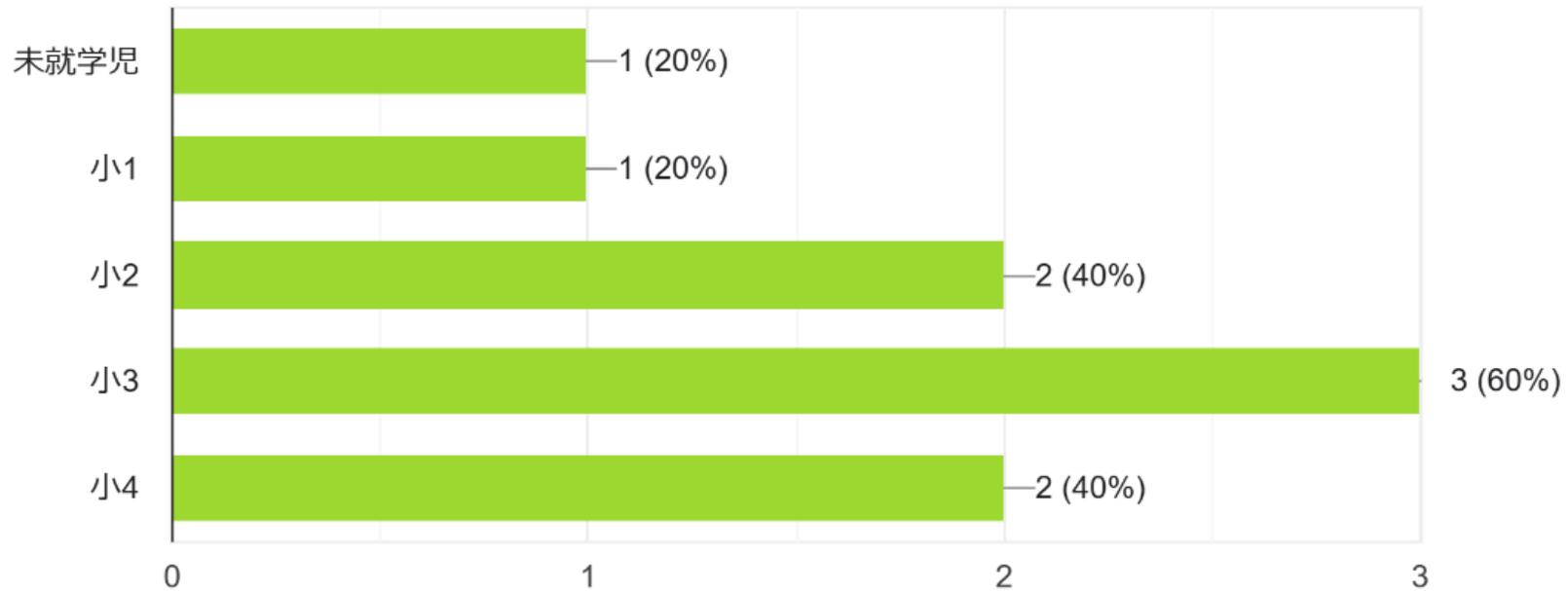
5件の回答



まんまるキッズプラス利用についてのアンケート回答結果つづき（回答数 5 件）

子どもの年齢
5 件の回答

▶ 「小3」が最も多く60% 兄弟ケースの利用が多い



【キッズプラスを利用して子どもに変化があったか】

- 社会性を身につけることができた。
- 学童が定員割れで行けないので、遊べる場所ができて気分転換になっている。
- **苦手食材も食べられるようになった。**
- 毎回楽しみにしている。
- **その日あった出来事をよく話してくれるようになった。**「今日はまんまるの日」と曜日感覚がみについた。

【キッズプラスを利用してご自身に変化があったか】

- 仕事が忙しいときにゆとりがもてるようになった。
- 部屋の掃除や家の幼児をすませることができ、プラスの日は少し遅くまで仕事ができるようになった。
- 資格取得のための勉強時間が確保でき助かっている。
- プラスの日は多少残業したり帰りに買い物できたりとても助かる。学童への迎えと食事準備が不要なのは助かる。
- 子育てや家事の負担から少し解放され、リフレッシュできるようになった。**子どもとの時間を楽しめるようになった。**

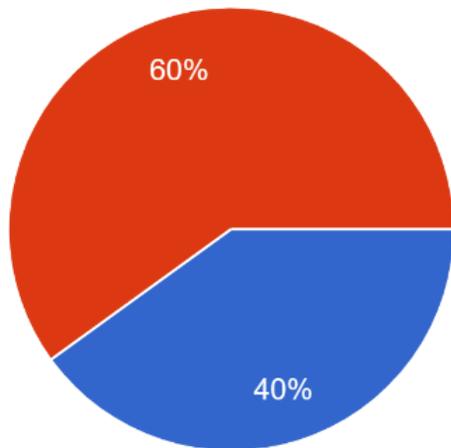
★考察

- 子どものみならず親にとってもプラスの変化をもたらしていた。
- とりわけ親に関しては、家事や仕事等に取り組む時間ができたほか、精神的なゆとりをもたらしていた。
- 週に一度の実践であるが、子と親の変化から、家庭支援につながっていることが考えられる。
- 課題として、利用回数の増加（緊急時の利用を含む）が挙げられる。

まんまるお弁当配達利用についてのアンケート回答結果（回答数10件）

利用歴
10件の回答

▶ 「1年以上」 60%

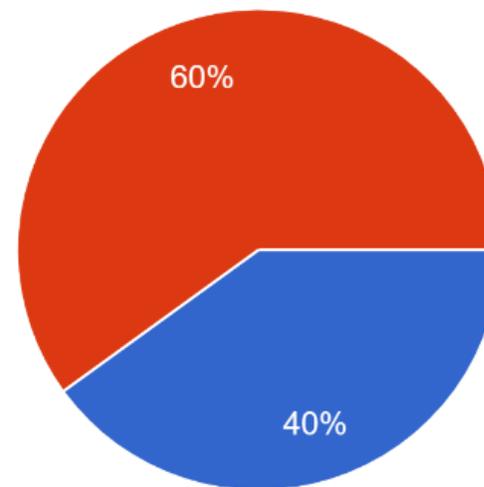


● 1年未満
● 1年以上

お弁当を受け取る際に困りごとを相談したことはありますか？

10件の回答

▶ 「はい」 40%



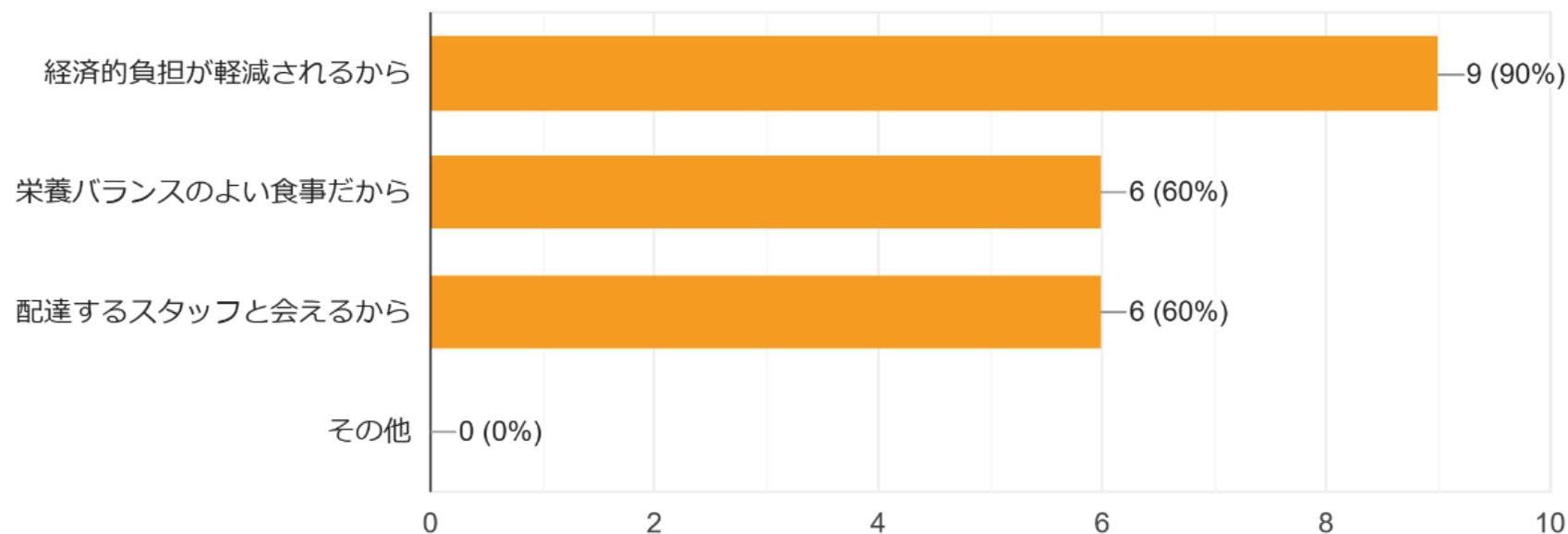
● はい
● いいえ

まんまるお弁当配達利用についてのアンケート回答結果（回答数10件）

お弁当配達を利用している理由（複数回答可）

10件の回答

▶ 経済的負担軽減だけでなく、「配達するスタッフに会えるから」が60%あった

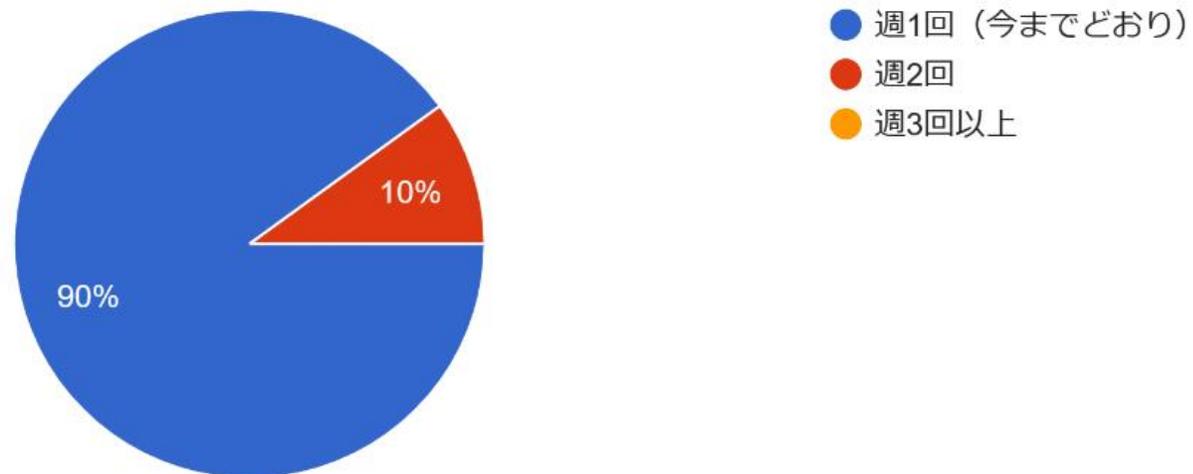


まんまるお弁当配達利用についてのアンケート回答結果（回答数 10 件）

週に何回配達を希望しますか？

10 件の回答

▶ 「週1回」が最も多く90%



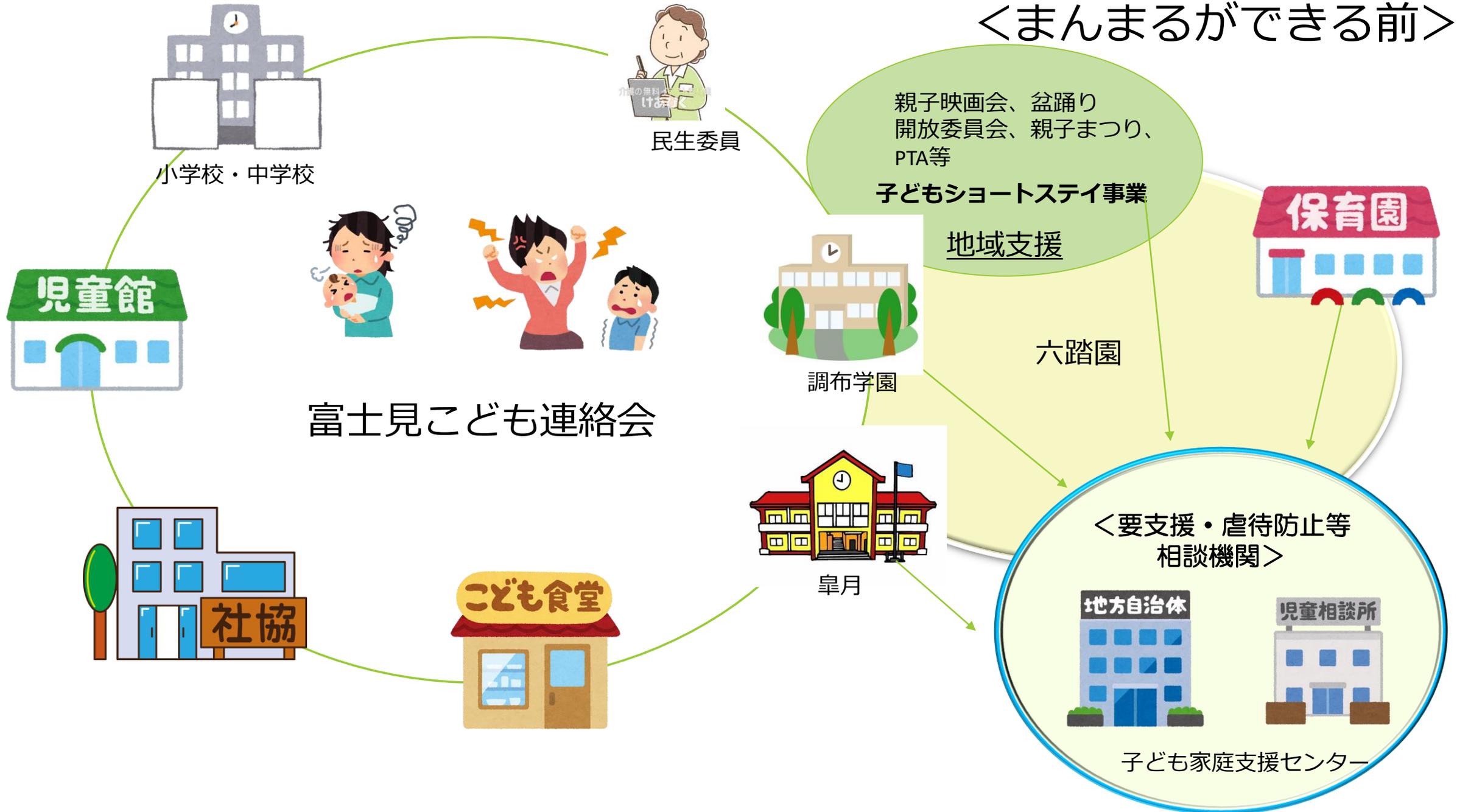
【弁当配達を利用する理由】

- ・「経済的負担の軽減」「栄養バランスがよい」という理由のほか、**回答者の60%が「配達するスタッフと会えるから」を挙げていた。**
- ・回答者の40%が受け取る際に困りごとを相談したことがあると回答した。
- ・また、自由記述では「スタッフさんとは相談こそしないものの直接お会いできる安心感があります」という回答があった。

★考察

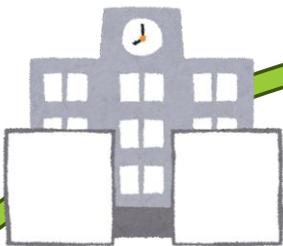
- ・弁当配達では、（スタッフは）支援者・被支援者という関係性ではなく、対等な立場・むしろ“保護者の応援団”という立場で関わっている。
- ・弁当配達を利用している理由について「配達するスタッフと会えるから」を過半数が挙げていた点や、「受け取る際に困りごとを相談したことがある」という回答が40%あった点から、一般的な弁当宅配との違いが浮き彫りになったと考えられる。

<まんまるができる前>



<現在>

小学校・中学校



民生委員



富士見こども連絡会

里親



アドバイザー
大学の先生



デザイナー



学童保育



調布学園・ショートステイ



まんまるを拠点に
みんなで子育て
➡ 予防福祉の充実



皐月



保育園

六踏園

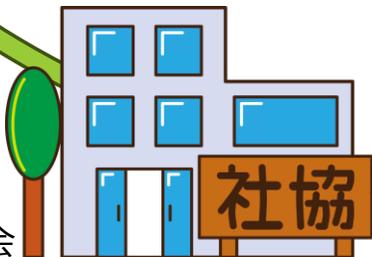


児童館

放課後等デイサービス



地域の方々



社会福祉協議会
市民活動センター



こども食堂



スクールソーシャルワーカー



<要支援・虐待防止等
相談機関>



地方自治体



児童相談所

子ども家庭支援センター

まんまるの 特徴・ 取り組みの効果

【特 徴】

- **学園の子も地域の子も、障がいがあってもなくても誰でも集える場**
- 子どもたちが多様な経験をできる場
- 親子で、特にお父さんも集える場
- 大人も職員もリフレッシュできる場
- **地域の方が主体となって、やりたいことができる場**
- **気軽に相談できる場**

【取り組みの効果】

- **児童養護施設に対する地域の理解促進**
- 人材確保
- **虐待予防**

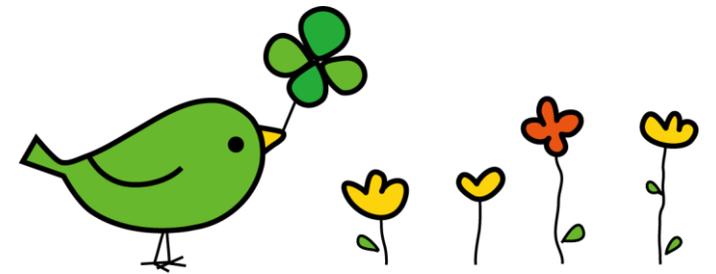
子ども支援だけにとどまらず、施設・法人・地域全体で支える関係づくり、予防福祉の実践に取り組んでいる。

まんまるの 活動を通じて 見えてきた 課題

- お弁当配達のニーズが多いものの、これ以上担いきれずお断りしているケースがある。
- キッズプラスにつなげたい世帯が多いが、学園の食数提供に上限がある
- キッズプラスの曜日を増やしたり、配達要員が確保できればよいが、いずれもスタッフ不足
- **➡支援を充実させるには、今まで以上のつながり、人員確保は必須である。**

調布学園が
地域福祉を
行うことの
7つのメリット

- ① 学園への地域理解の促進
- ② 支援の輪の更なる拡大
- ③ 多様な経験の保障
- ④ 新たな人員確保
- ⑤ 多様な働き方の創出
- ⑥ 職員のリフレッシュ
- ⑦ 虐待の予防



2020年度地域福祉対策委員会提言書より

大切にしていること

- 楽しく安心できる居場所づくり ホッとくつろげる場所
- 傾聴、否定しない
- **支援の必要な家庭に確実にアプローチする**
- **従来にはない支援をうみだす**
- 人と人、人と社会のつながりを大切にする
- 地域の方々が主体となる
- スタッフはあくまでもサポーター
- アウトリーチ



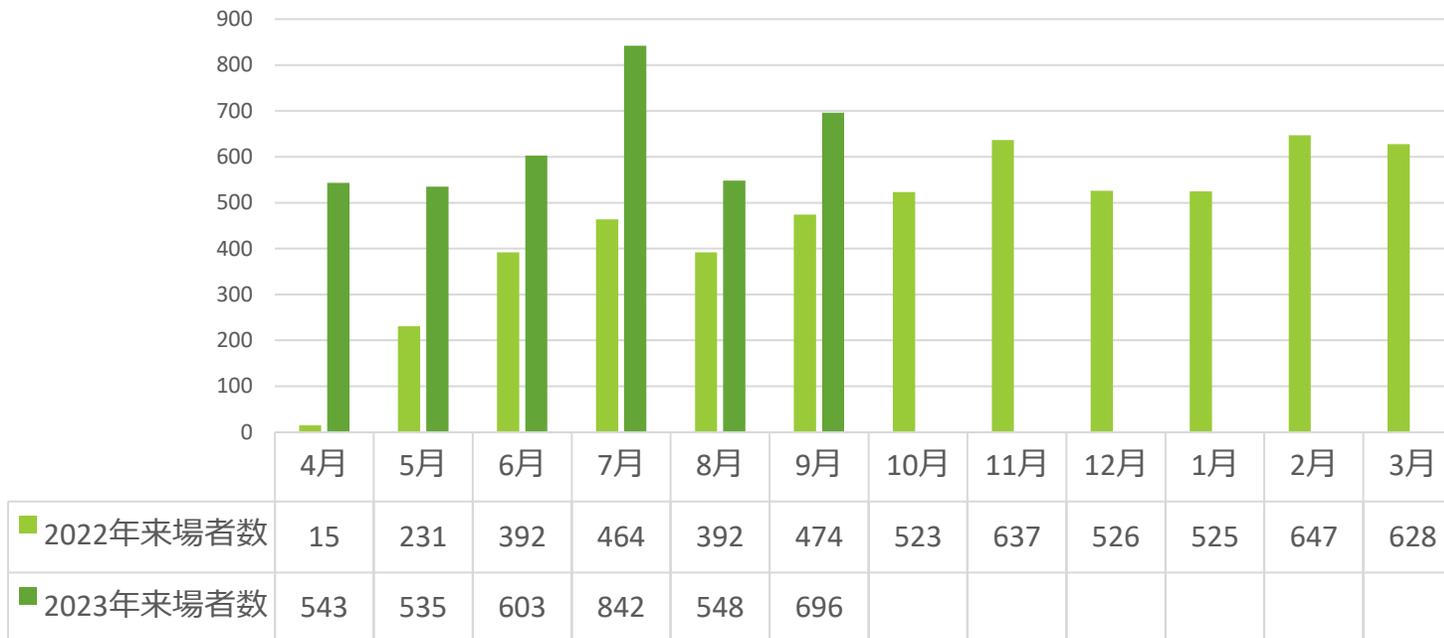
利用実績

2022年度利用者総数
5454人

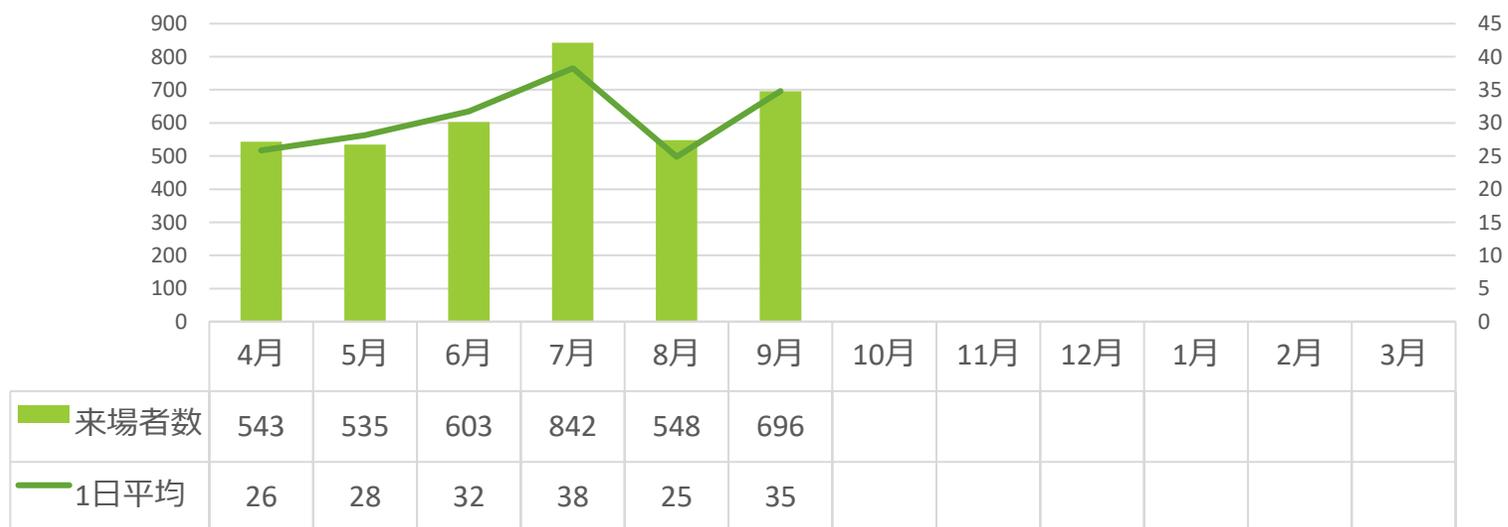
2023年度4～9月総数
3767人

※2022年度はコロナ禍のため、
定員23名に制限していた。

まんまる来場者数（月別）：昨年度との比較

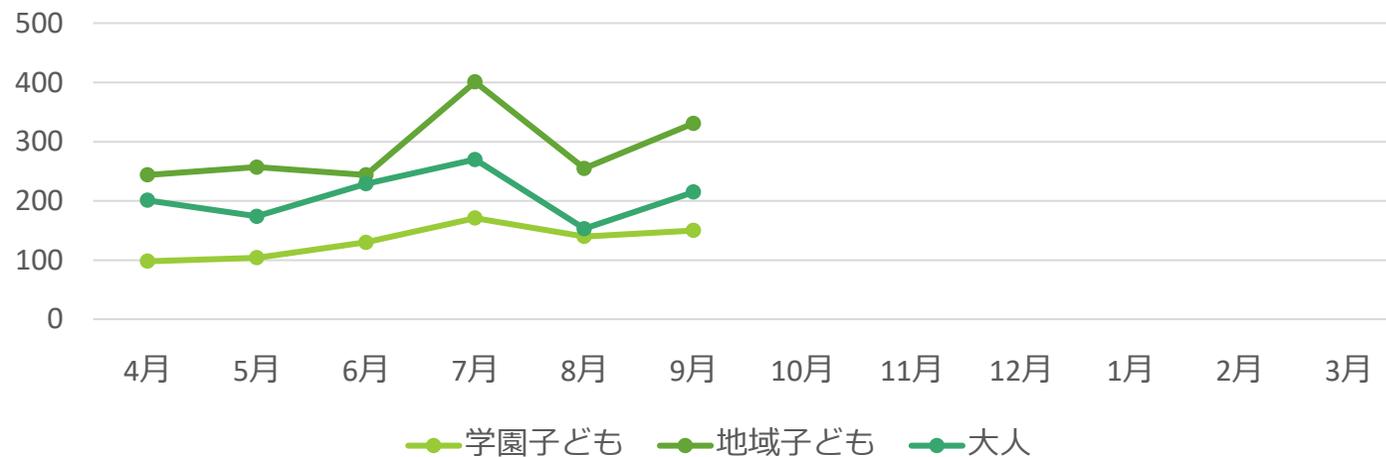


2023年度利用者実績

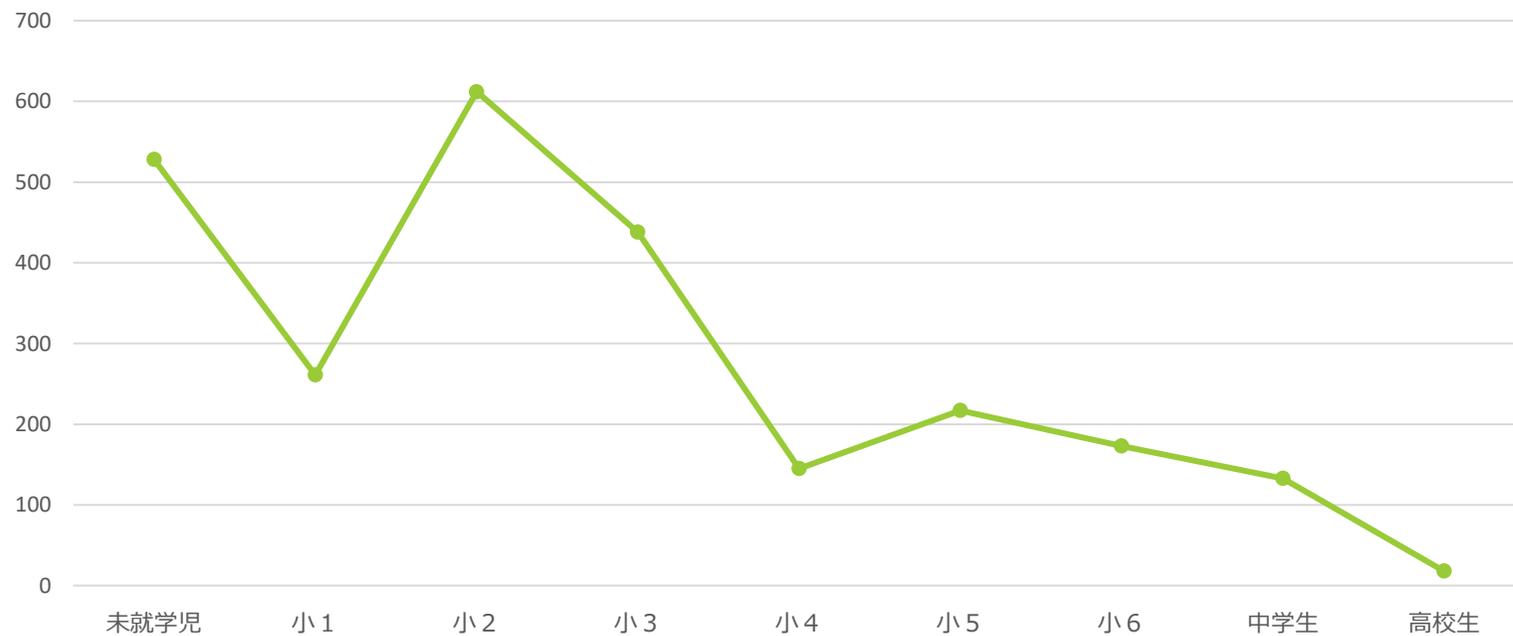


利用実績

2023年度利用実績（月別）



2023年度年齢別利用者数（4月～9月実績）



広報・SNS

まんまる公式LINE登録者
264人

Instagramフォロワー数
272人



つなげよう！地域の力！
～ちょこっと、つどう憩いの「わ」～

“ぶどうのように世界はみなまるい心でつながりあっていくのだよ”
みんなまるい優しい心でつながりあっていくことで、
世界中のみんなが平和になりますように、という想いを込めて、
また、地域の方や卒園生・通所者が気軽に集える場所になり、
みんながまるくつながって温かな心で過ごしてもらいたい！
という想いを込め、地域交流センター「まんまる」を作りました。



社会福祉法人六義園 調布学園・第二調布学園内地域交流センター「まんまる」

新型コロナウイルス対策の高人感染対策も23人までとさせていただきます。ご協力の際、よろしくお願ひいたします。

まんまる Day

だれでも対象

どなたでもお越しください。
30分～1時間利用可能となります。

月曜・水曜・土曜
午前9時～11時 / 午後2時～5時
※お休みの日・お盆・お正月は休みです。

まんまる Kids

子どもたち対象

保護者の呼びかけです。
高はひり楽しい場所にしていきましょう。

水曜・金曜
午後2時～4時45分

利用料

FREE

(無料)

時間貸しの場合
1回500円
お問合せは地域交流
コーディネーターまで。

設備

バリアフリー
床暖房
プロジェクター
キッズスペース
だれでもトイレ
(24時間稼働)

法人の事業として、日本財団「子ども第三の居場所」
コロナ禍子どもの居場所づくり事業、地域の安心
家にとっても、子どもたち・職員にとっても、楽しい
居場所をつなげられる居場所をつくりたい。

「子ども第三の居場所」
日本財団が2016年より、すべての子どもが居場所の自由に育ち
生き生きと暮らすことのできる「子ども第三の居場所」を全国に展開しています。
「子ども第三の居場所」には、設備・環境を整え、教育・学習支援・
生活支援など、地域福祉を推進していきます。特に、子育て支援、地域開
発に連携し、「誰一人取り残されない地域子育てコミュニティ」の構築とし
て推進をすすめています。事業実施は全国約400箇所、2022年度時点で
事業500拠点を開設しています。102244888

https://www.nippon-foundation.or.jp/what/projects/child-third-place

LINE 公式アカウント
友達募集中！

イベントや各種体験をお知らせします

社会福祉法人六義園
調布学園・第二調布学園内
地域交流センター「まんまる」

お電話 090-5781-1501 (まんまる直線)
042-483-7611 (調布学園・第二調布学園内)

E-mail 6tounenmanmaru@gmail.com

お問合せは地域交流コーディネーターまでお問合せください。

〒182-0033 東京都調布市富士見町3-18-1 https://chofugakuen.com

MANMARU2022

まんまる通信 2022.8月号

まんまるがオープンして3か月が経ちました。「まんまるって何してるの？」という聞かれた心の声にお答えし、なるべく定期的にまんまるの活動を報告していきたいと思ひます！

まんまる Kids(水・金) 対象:子どもたち

小学生中心の遊び場です。マスク着用、手洗いでね！
みんなが安心して過ごせるように、講習・協力・おもちゃを
乱暴に扱うのはやめてくださいな。

毎月第3金曜日は「ポケモン折り紙道場」

▲利用者から寄贈していただいたブルーレイ、DVDミックスに感謝を申し上げます。

▲利用者が多かったら、地域の子どもたちおよび小学生鑑賞生優先になります。

子ども向けイベントも実施中

▲「たごもしの秘密」環境学習
▲調布市在任プロの演奏家による
アクションコンサート 9月も開催予定

▲川んさんの素敵なフルートライブ

まんまるキッズプラス(水・金 17:30～20)
★非公開

ひとり親家庭のお子さん専用、学習の夕食を提供しています
週1回より親家庭の二回夕食の併催を断っています(期間
限定)
高3Hさんがお手伝いしてくれています！

▲中高生がまんまるの置き看板を作ってくれました！ありがとうございます！

まんまる Day(月・水・土) 対象:誰でも(地域)

赤ちゃん連れ、地域の方々の交流の場。学園は中高生以上で静かに過ごせる人が来てね、小学生の利用は大人と相談してね。

7ヶ月がリフレッシュも人気です

月2回(水)子連れOKリフレッシュヨも人気です

★利用者実績★
4月 学園子ども13 地域子ども1 大人1 計15名
5月 学園子ども116 地域子ども41 大人74 計231名
6月 学園子ども137 地域子ども113 大人142 計392名
7月 学園子ども108 地域子ども134 大人222 計464名
キッズプラス 2世帯4名
お弁当配達 7世帯14名

★今後のお知らせ★ イベントカレンダーに追加いたします。
・8月22日(月) デザイナーと一緒にまんまるづくり
・8月28日(日) お笑いクラブによるお笑いライブ
8/13(土)PM～8/21(日) まんまる休館です。

今後の 支援展開

- 安定した運営体制の確保
- 福祉課題（ひとり親家庭・保護者のケア・親子統合・里親・不登校支援等）への対応
- ショートステイ事業との協業
- 法人連携を深める
- 地域の方々が主体となれる取り組み
- 自立に向けた事業展開



さらに予防福祉の実践に取り組んでいく。

- ありがとうございます

